

校内授業研究パート7（5年理科）

昨日は、5年2組で専科の先生による理科「ふりこのきまり」の授業研究がありました。「振れ幅」や「おもりの重さ」の条件を変えても、ふりが1往復する時間は変わらなかったこれまでの学習を想起しながら、本時は「ふりの長さ」を変えると時間はどうなるかを予想させます。コロナ禍でグループでの実験が行いにくいこともあり、実験は教師が代表で行いました。ただし時間は各班がストップウォッチを片手に計ります。それでも、ふりが10往復する時間を数える時には、みんなが声を出して唱えるため、一体感をもって実験に参加する場面が見られました。

子供達は、「変える条件」「変えない条件」を制御しながら実験を行うことの大切さにも着目していました。

